

令和6年度 江戸川区立篠崎第二中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

<p>学校教育目標</p>	<p>○ 探求心をもち学ぶ生徒 ○ 礼儀正しく豊かな心をもつ生徒 ○ 健やかな体をもつ生徒</p>	<p>目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像</p>	<p>「互いに認め合い、高めあえる学校」「保護者や地域から信頼される学校」 ①自分から進んで学び、対話を通して深く考え、行動することができる生徒 ②自他の命を大切に、仲間を思いやり、人と上手に接することができる生徒 ③「篠二中」や地域を愛し、広い視野をもち、仲間や社会の役に立つことができる生徒 ①生徒の気持ちや考えを理解し、対話を大切にしながら、生徒と接することができる教職員 ②生徒が自己実現のための意欲と行動力を身に付けるため、生徒の学びを支援できる教職員 ③保護者の願いや社会の期待を自覚し、未来を生きる生徒を育成することができる教職員 ④未来を生きる生徒とともに自己啓発と自己変革に意欲的に取り組むことができる教職員</p>
<p>前年度までの本校の現状</p>	<p>成果 ○ 感染症対策で停滞していた教育活動に、生徒の自主性・主体性を取り入れ、改革・充実を推進した。 ○ 保護者や地域に教育活動を公開するとともに、連携協力を深め、地域の学校としての機能を発展できた。</p>	<p>課題</p>	<p>○ 教育活動のさらなる充実に向けて、前例にとらわれることなく、同僚性と協働性を発揮できる教職員集団を構築すること ○ 生徒一人一人の自己有用感を高め、学力向上・体力向上を推進すること</p>

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A~D)		「中間」学校関係者評価(A~D)		「年度末」自己（学校）評価(A~D)		「年度末」学校関係者評価(A~D)		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○基礎学力の充実	・学習コンテスト（国数英）年間各2回実施 ・数学単元別検定の実施	・各コンテスト目標達成者：80% ・各検定合格者：60%	B		B	・数値目標は達成できている。	C	・生徒一人一人の学力向上を推進してほしい。					
	○家庭学習の充実	・メディアコントロール週間を年間2回実施	・メディア使用時間-30% 家庭学習時間+1時間	C		C	・数値目標を達成できていない。 ・朝礼等で呼びかけを継続する。	C	・メディア使用時間、家庭学習時間共に家庭で指導していきたいが、学校での指導もお願いしたい。					
	○読書科の更なる充実	・探究的な学習の課題を学期に1回設定	・探究的な学習の成果物を学期に1つ作成	C		C	・指導計画から、成果物は作成できない学年もあった。	C	・学習過程や学習成果を知る機会を設けてほしい。					
体力の向上	○個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	・体育授業時の毎時間補強運動の実施 ・運動部活動における補強運動の実施	・体力テスト結果で都平均以上4種目	B		B	・事前指導は充実した。 ・体力テスト結果はまだ公表されていない。	B	・運動を行う場面をもっと作ってほしい。					
	○昼休み・家庭での運動の奨励	・昼休みの活動時間及び活動場所の確保 ・家庭での活動方法の提示	・余暇場面での運動量の増加・生徒アンケート肯定的評価80%以上	B		B	・生徒アンケートは数値目標を達成した。	B	・家庭での運動をどのようにするか提示してほしい。					
実現に向けた教育の推進	○校内特別支援教育推進委員会の充実	・毎週1時間の実施 ・情報収集、共有、発信の徹底	・校内評価において肯定的評価90%以上	B		B	・毎週の実施はできたが、情報の共有や利活用については十分とは言えなかった。	C	・どのようなことがなされているのかが不明である。					
	○授業におけるユニバーサルデザインの徹底	・校内研修会の実施 ・授業観察等における指導助言	・校内評価において肯定的評価90%以上	B		A	・講師を招き、研修会を行い、教員の理解が深まった。	B	・生徒の個性や特性に応じた指導を一生充実してほしい。					

